

教材・支援機器活用実践事例【ICT】

自ら調整して教科書を読むための ICT 活用 「タブレット端末による音声入力および書見台による姿勢維持」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部3年
	障がい名等	肢体不自由・知的障がい・弱視
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> 見え方に特徴があり、小さい文字を見つけてタブレットで入力することが難しい。 物に目を近づける癖があり、正しい姿勢の維持に課題がある。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	社会
	単元(題材)名	単元名「ハザードマップを見て災害に備えよう」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校周辺のハザードマップを、市の Web サイトからダウンロードすることで、いつでも確認することができることを知る。また、ハザードマップの見方を学習し、マークの意味や安全な場所を知ること、どこへ避難すればよいか考えることができるようにする。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら入力しやすい方法を選択し、姿勢を崩すことなくハザードマップを見やすい大きさに拡大するなどの調整を行うことができるようにする。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が確認すべきポイントを明示し、ハザードマップのどこに注目すればよいか分かるようにした。 ・自分でハザードマップを拡大表示させ、書見台の角度も見やすい状態に調節できるよう言葉かけをして、姿勢を崩さずに授業に臨むことができるようにした。 ・検索する際に音声入力でも可であることを伝えることで、生徒がやりやすい方法を選択できるようにした。
	材料・作成方法等	タブレット端末、書見台
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末に入力する時間が短縮できたことで、ハザードマップの観察に時間をかけることができた。 ・書見台を用いることで、姿勢を崩さずにタブレット端末の操作をすることができた。